



# 機械受注統計調査報告

Machinery Orders

平成 28 年 6 月 実績

June 2016



平成 28 年 8 月

August 2016

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics  
Economic and Social Research Institute  
Cabinet Office, Government of Japan

## 目 次

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 2016（平成28）年6月の機械受注動向        |   |
| （1）需要者別受注動向（季節調整値）          | 1 |
| （2）民需の業種別受注動向（季節調整値）        | 1 |
| （3）販売額、受注残高、手持月数（季節調整値）     | 1 |
| 〈参考1〉 需要者別の機械受注動向（原数値）      | 6 |
| 〈参考2〉 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値） | 6 |
| 統 計 表                       | 8 |

### （ 調 査 の 概 要 ）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

1987（昭和62）年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月調査より、日本標準産業分類の改定（2007（平成19）年11月）に準拠して、需要者（業種）分類を変更した。表章については、2016（平成28）年1月調査より、従来移行期表章分類から変更後の調査票分類へと移行した（巻末の対照表を参照）。

### （ 使 用 上 の 注 意 ）

- 1989（平成元）年4月調査の実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 本調査は、毎年季節調整系列の改訂を行っており、2016年については同年1月調査時に行った。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。ただし、主要系列（受注総額、民需、民需（船舶・電力を除く）、製造業、非製造業、非製造業（船舶・電力を除く）、官公需、外需、代理店）については、RegARIMAを利用した季節調整を検討し、適用している（詳細は巻末を参照）。
- 統計表の増加率は比較される二つの計数の増（減）分を前期（前年同期）の計数で機械的に除したものである。
- 「携帯電話」については2005（平成17）年度より調査を行ってきたため、2004（平成16）年度以前については、「携帯電話」を除いた系列を計算することはできない。このため、2011年4月調査以降、本調査は2005年度開始となる。
- 業種分類及び機種分類の定義は、本調査HPを参照。

[http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu\\_juchu.html](http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu_juchu.html)

## 2016（平成28）年6月の機械受注動向

### (1) 需要者別受注動向（季節調整値） [第1表及び第1・2図参照]

最近の機械受注の動向を前月比でみると、受注総額は、5月11.5%減の後、6月は10.1%増となった。

需要者別にみると、民需は、5月1.8%減の後、6月は6.9%増となった。このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、5月1.4%減の後、6月は8.3%増となった。内訳をみると製造業が17.7%増、非製造業（船舶・電力を除く）が2.1%増であった。

一方、官公需は、5月7.6%減の後、6月は運輸業、「その他官公需」で減少したものの、地方公務、防衛省等で増加したことから、12.3%増となった。

また、外需は、5月14.8%減の後、6月は工作機械、電子・通信機械等で減少したものの、原動機、産業機械等で増加したことから、10.8%増となった。

なお、最終需要者が不明である代理店経由の受注は、5月7.3%減の後、6月は産業機械、重電機等で減少したものの、道路車両、電子・通信機械等で増加したことから、12.5%増となった。

次に四半期別の受注動向を前期比でみると、受注総額は、1～3月4.4%減の後、4～6月は6.1%減となった。

需要者別にみると、民需は、1～3月12.4%増の後、4～6月は17.1%減となった。このうち、「船舶・電力を除く民需」は、1～3月6.7%増の後、4～6月には、製造業、非製造業（船舶・電力を除く）ともに減少したことから、9.2%減となった。

また、官公需は、1～3月20.0%増の後、4～6月には「その他官公需」で増加したものの、地方公務、防衛省等で減少したことから、13.3%減となった。

一方、外需は、1～3月26.6%減の後、4～6月には航空機、鉄道車両等で減少したものの、電子・通信機械、原動機等で増加したことから、3.7%増となった。

なお、代理店経由の受注は、1～3月6.3%増の後、4～6月には工作機械で増加したものの、重電機、電子・通信機械等で減少したことから、8.5%減となった。

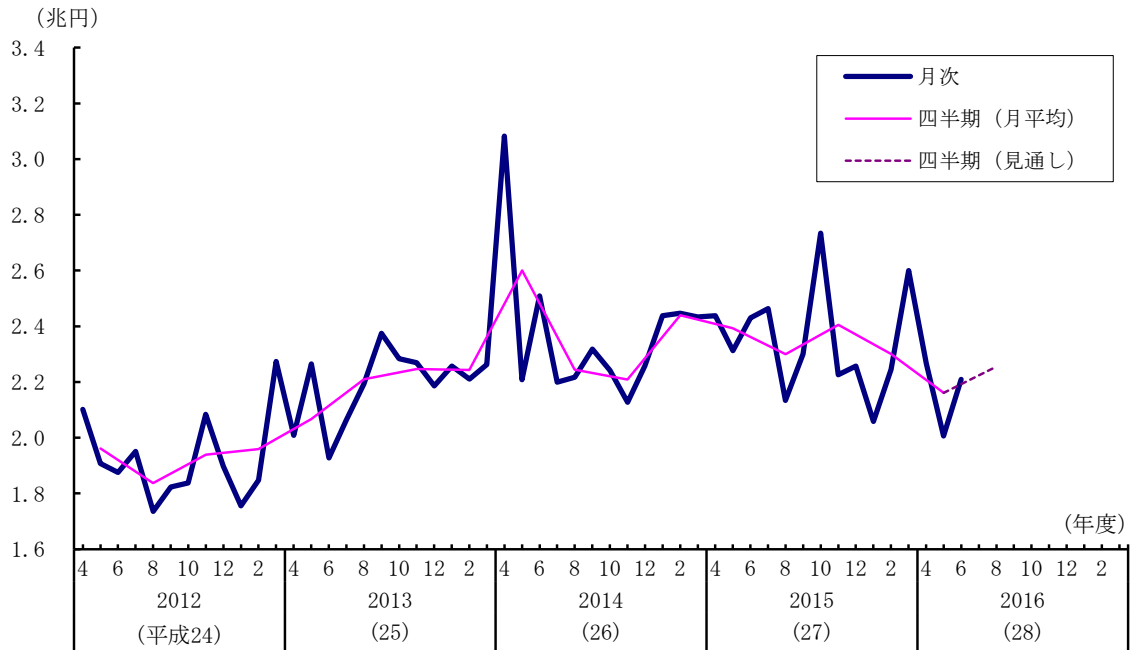
第1表 主要需要者別機械受注額

(単位：億円，%)

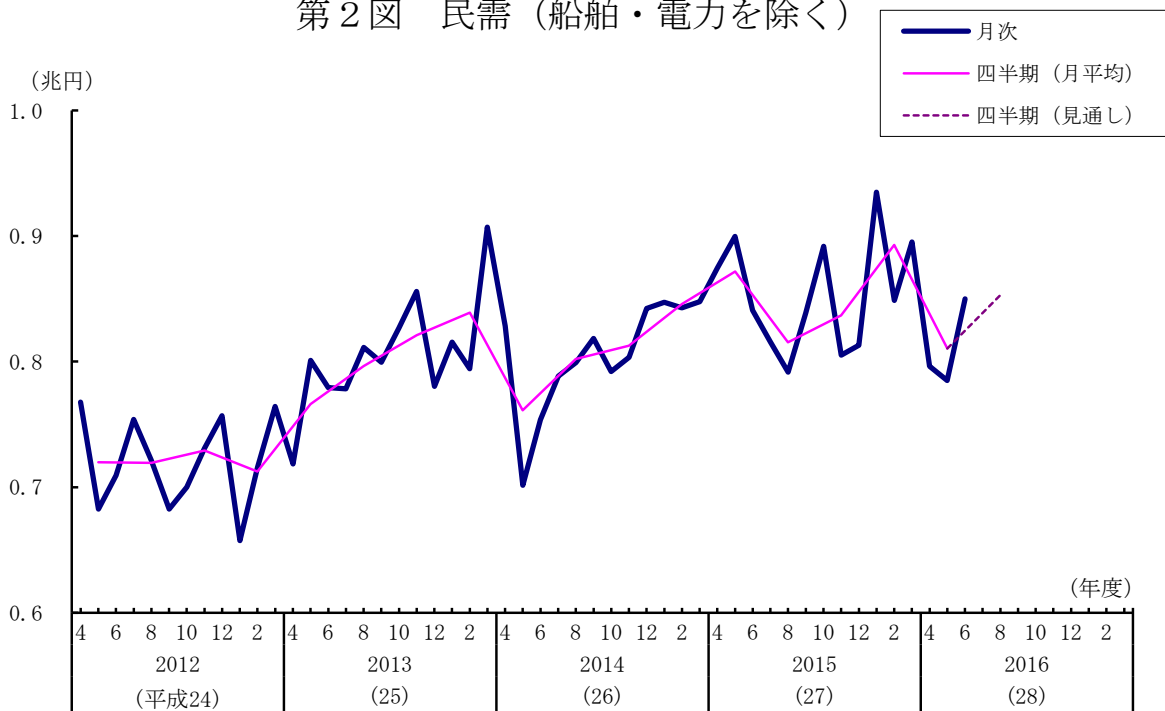
| 期・月<br>需要者         | 2015年<br>(平成27年)             |                               | 2016年<br>(平成28年)               |                                | 2016年<br>(平成28年)            |                               |                                |                              |
|--------------------|------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
|                    | 7～9月                         | 10～12月                        | 1～3月                           | 4～6月                           | 3月                          | 4月                            | 5月                             | 6月                           |
| 受注総額               | 68,976<br>( -3.9)<br>[ 1.9]  | 72,164<br>( 4.6)<br>[ 8.1]    | 69,021<br>( -4.4)<br>[ -2.5]   | 64,834<br>( -6.1)<br>[ -9.6]   | 25,993<br>( 15.8)<br>[ 7.5] | 22,672<br>( -12.8)<br>[ -7.1] | 20,064<br>( -11.5)<br>[ -13.0] | 22,098<br>( 10.1)<br>[ -9.1] |
| 民需                 | 28,993<br>( -5.5)<br>[ -2.0] | 30,832<br>( 6.3)<br>[ 6.6]    | 34,667<br>( 12.4)<br>[ 4.5]    | 28,742<br>( -17.1)<br>[ -6.1]  | 11,884<br>( 2.0)<br>[ -0.0] | 9,478<br>( -20.2)<br>[ -7.9]  | 9,310<br>( -1.8)<br>[ -7.9]    | 9,954<br>( 6.9)<br>[ -3.2]   |
| 〃<br>(船舶・電力を除く)    | 24,456<br>( -6.5)<br>[ -0.9] | 25,098<br>( 2.6)<br>[ 2.1]    | 26,785<br>( 6.7)<br>[ 3.4]     | 24,312<br>( -9.2)<br>[ -6.5]   | 8,951<br>( 5.5)<br>[ 3.2]   | 7,963<br>( -11.0)<br>[ -8.2]  | 7,850<br>( -1.4)<br>[ -11.7]   | 8,498<br>( 8.3)<br>[ -0.9]   |
| 製造業                | 10,583<br>( -9.6)<br>[ -1.1] | 10,266<br>( -3.0)<br>[ -3.1]  | 11,677<br>( 13.7)<br>[ 4.3]    | 10,110<br>( -13.4)<br>[ -12.9] | 3,842<br>( 19.7)<br>[ 2.7]  | 3,329<br>( -13.3)<br>[ -14.8] | 3,115<br>( -6.4)<br>[ -21.5]   | 3,666<br>( 17.7)<br>[ -3.8]  |
| 非製造業<br>(船舶・電力を除く) | 13,795<br>( -4.9)<br>[ -0.8] | 14,565<br>( 5.6)<br>[ 6.3]    | 15,071<br>( 3.5)<br>[ 2.6]     | 14,325<br>( -5.0)<br>[ -1.0]   | 4,944<br>( -6.9)<br>[ 2.7]  | 4,750<br>( -3.9)<br>[ -3.0]   | 4,738<br>( -0.3)<br>[ -2.5]    | 4,838<br>( 2.1)<br>[ 1.8]    |
| 官公需                | 7,383<br>( -8.0)<br>[ 1.6]   | 6,563<br>( -11.1)<br>[ -18.4] | 7,876<br>( 20.0)<br>[ 18.6]    | 6,830<br>( -13.3)<br>[ -14.6]  | 3,586<br>( 49.9)<br>[ 49.1] | 2,307<br>( -35.7)<br>[ -21.0] | 2,131<br>( -7.6)<br>[ -11.5]   | 2,393<br>( 12.3)<br>[ -8.4]  |
| 外需                 | 29,280<br>( 3.8)<br>[ 5.8]   | 31,946<br>( 9.1)<br>[ 17.0]   | 23,439<br>( -26.6)<br>[ -18.8] | 24,305<br>( 3.7)<br>[ -13.6]   | 9,337<br>( 28.5)<br>[ -0.4] | 8,693<br>( -6.9)<br>[ -2.0]   | 7,407<br>( -14.8)<br>[ -20.8]  | 8,205<br>( 10.8)<br>[ -16.8] |
| 代理店                | 3,237<br>( 6.0)<br>[ 5.1]    | 3,349<br>( 3.4)<br>[ 7.2]     | 3,559<br>( 6.3)<br>[ 17.3]     | 3,255<br>( -8.5)<br>[ 6.3]     | 1,140<br>( -4.9)<br>[ 16.4] | 1,096<br>( -3.9)<br>[ 3.5]    | 1,016<br>( -7.3)<br>[ 8.9]     | 1,143<br>( 12.5)<br>[ 6.9]   |

- (備考) 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

第1図 機械受注総額



第2図 民需（船舶・電力を除く）



(備考)

1. 四半期（月平均）は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示（例えば7～9月の月平均値は8月の位置に表示）。
2. 「2016年7～9月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2016年6月末時点）」の季節調整値を3で割った数値。

(2) 民需の業種別受注動向（季節調整値） [第2表参照]

製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、5月6.4%減の後、6月は17.7%増となった。

6月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは17業種中、「その他輸送用機械」（250.4%増）、繊維工業（80.9%増）等の12業種で、石油製品・石炭製品（48.4%減）、非鉄金属（40.0%減）等の5業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、5月4.4%増の後、6月は0.0%増となった。

6月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは12業種中、リース業（40.4%増）、運輸業・郵便業（36.5%増）等の7業種で、電力業（31.5%減）、不動産業（28.6%減）等の5業種は減少となった。

次に四半期別の受注動向を前期比で見ると、製造業からの受注は合計では、1～3月13.7%増の後、4～6月には13.4%減となった。4～6月の内訳を業種別にみると、前期比で増加したのは17業種中、「その他輸送用機械」（86.0%増）、石油製品・石炭製品（76.3%増）等の10業種で、鉄鋼業（77.0%減）、情報通信機械（19.3%減）等の7業種で減少となった。

一方、非製造業からの受注は合計では、1～3月13.0%増の後、4～6月は19.7%減となった。4～6月の内訳を業種別にみると、前期比で増加したのは12業種中、運輸業・郵便業（20.0%増）、農林漁業（15.3%増）等の3業種で、電力業（40.0%減）、卸売業・小売業（26.1%減）等の9業種で減少となった。

(3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値） [第3図参照]

6月の販売額は2兆2,335億円（前月比9.0%増）で、前3か月平均販売額は2兆1,608億円（同0.8%減）となり、受注残高は28兆7,774億円（同0.6%減）となった。この結果、手持月数は13.3か月となり、前月差は0.03か月増加した。

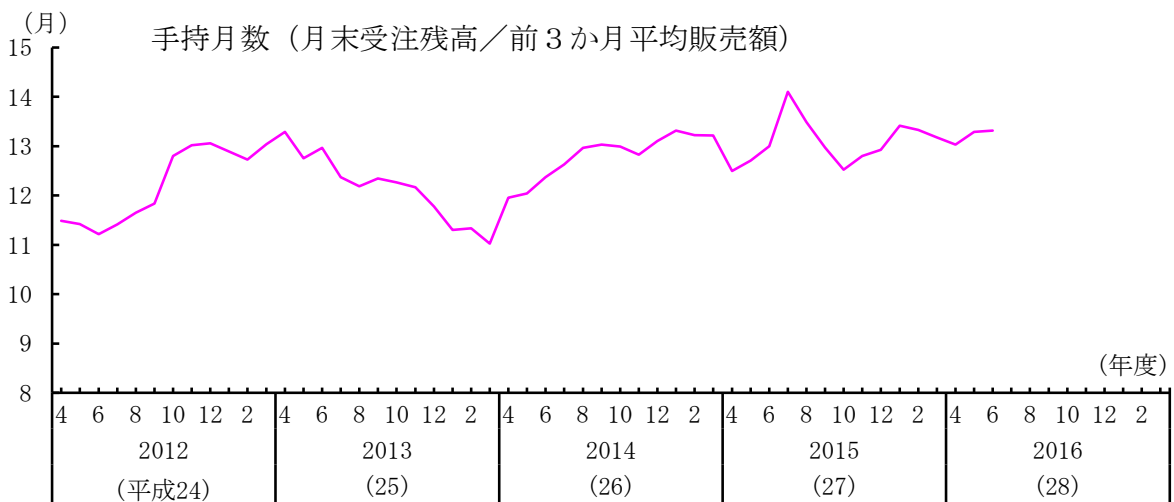
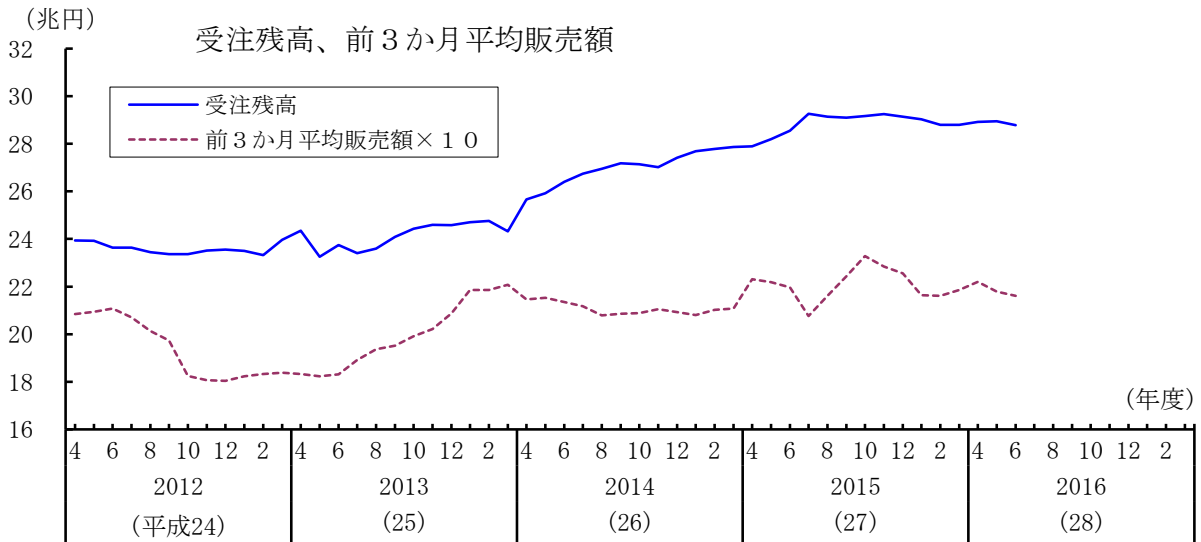
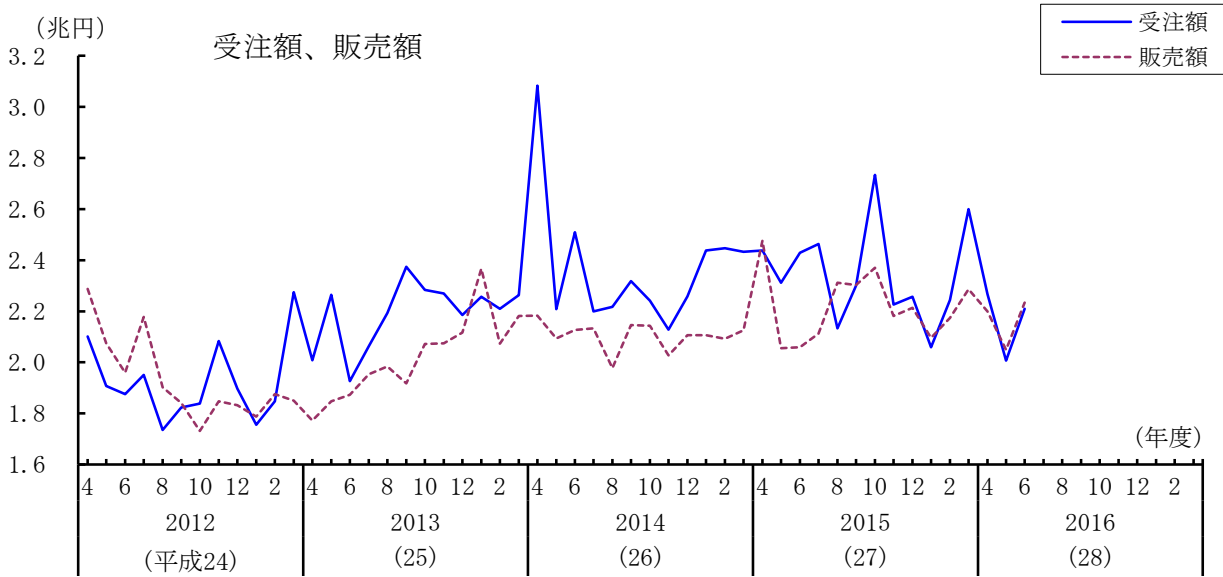
第2表 民需の業種別機械受注の伸び

(単位：%)

| 需要者             | 期・月   |        | 2015年<br>(平成27年) |       | 2016年<br>(平成28年) |       | 2016年<br>(平成28年) |       |  |  |
|-----------------|-------|--------|------------------|-------|------------------|-------|------------------|-------|--|--|
|                 | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月             | 4～6月  | 3月               | 4月    | 5月               | 6月    |  |  |
| I 製造業計          | -9.6  | -3.0   | 13.7             | -13.4 | 19.7             | -13.3 | -6.4             | 17.7  |  |  |
| 1 食品製造業         | -20.4 | 28.5   | -9.5             | -8.9  | 54.2             | -10.4 | -28.3            | 9.9   |  |  |
| 2 繊維工業          | 31.7  | -26.6  | 8.8              | 23.2  | 4.0              | 6.9   | -11.8            | 80.9  |  |  |
| 3 パルプ・紙・紙加工品    | -49.0 | 43.0   | -13.1            | 21.7  | -51.6            | -1.2  | 125.1            | -22.8 |  |  |
| 4 化学工業          | 6.9   | 1.6    | -1.2             | -5.3  | 28.1             | -39.4 | 46.2             | -1.4  |  |  |
| 5 石油製品・石炭製品     | 10.0  | -45.5  | 56.7             | 76.3  | 5.1              | 109.1 | -21.3            | -48.4 |  |  |
| 6 窯業・土石製品       | -13.0 | 7.3    | -7.3             | 3.4   | 36.7             | -17.9 | 15.5             | 18.1  |  |  |
| 7 鉄鋼業           | -68.2 | 15.7   | 268.4            | -77.0 | 7.5              | 14.5  | -17.1            | 33.4  |  |  |
| 8 非鉄金属          | -24.4 | 9.7    | 76.4             | 5.2   | 270.4            | -86.4 | 554.4            | -40.0 |  |  |
| 9 金属製品          | -24.1 | 5.1    | 0.3              | -14.0 | 85.4             | -33.1 | -8.3             | 28.7  |  |  |
| 10 はん用・生産用機械    | -1.5  | -3.6   | -0.7             | 1.2   | 17.8             | -6.1  | -9.6             | 9.6   |  |  |
| 11 業務用機械        | -4.6  | 0.2    | -7.3             | -0.3  | 4.0              | 3.2   | -3.9             | 3.6   |  |  |
| 12 電気機械         | -21.4 | -9.2   | -8.7             | 10.3  | -19.1            | 24.8  | 9.1              | 1.5   |  |  |
| 13 情報通信機械       | -1.9  | 12.8   | -11.7            | -19.3 | -10.5            | 29.4  | -40.7            | 9.9   |  |  |
| 14 自動車・同付属品     | 0.4   | -4.0   | -5.9             | 1.1   | 13.2             | 7.1   | -10.3            | -10.2 |  |  |
| 15 造船業          | -12.8 | -4.6   | 34.3             | -16.2 | 89.7             | -50.0 | 31.1             | 3.8   |  |  |
| 16 「その他輸送用機械」   | 6.8   | 3.4    | -12.6            | 86.0  | -21.5            | 25.0  | -4.9             | 250.4 |  |  |
| 17 「その他製造業」     | 1.2   | -2.5   | -1.7             | 6.0   | 19.4             | -9.5  | 1.2              | 2.4   |  |  |
| II 非製造業計        | -3.0  | 12.0   | 13.0             | -19.7 | -7.8             | -24.4 | 4.4              | 0.0   |  |  |
| 18 農林漁業         | -22.3 | 8.6    | -7.1             | 15.3  | -0.4             | 7.3   | -3.3             | 21.4  |  |  |
| 19 鉱業・採石業・砂利採取業 | -8.3  | 10.2   | -5.2             | 10.0  | 10.9             | 17.1  | -24.6            | 13.8  |  |  |
| 20 建設業          | -4.1  | -7.2   | 3.2              | -2.1  | -15.3            | -9.5  | 14.3             | 15.0  |  |  |
| 21 電力業          | 12.1  | 18.5   | 34.6             | -40.0 | -48.5            | -18.8 | 4.8              | -31.5 |  |  |
| 22 運輸業・郵便業      | -17.0 | 52.9   | -17.4            | 20.0  | -20.5            | -4.2  | 26.8             | 36.5  |  |  |
| 23 通信業          | 9.7   | 8.1    | 8.4              | -18.7 | -0.7             | -19.2 | -4.7             | 5.6   |  |  |
| 24 卸売業・小売業      | 3.7   | 7.7    | 12.5             | -26.1 | 9.9              | -25.3 | -1.1             | 14.0  |  |  |
| 25 金融業・保険業      | -10.9 | -2.7   | 3.9              | -6.7  | -27.7            | 42.9  | -23.0            | -9.7  |  |  |
| 26 不動産業         | -29.1 | 1.4    | 27.1             | -13.6 | 51.8             | -23.0 | 15.8             | -28.6 |  |  |
| 27 情報サービス業      | -4.7  | 6.6    | 15.5             | -17.1 | -19.0            | -16.5 | 13.4             | -8.3  |  |  |
| 28 リース業         | -9.7  | 0.6    | -5.1             | -18.0 | 18.7             | -22.6 | -19.7            | 40.4  |  |  |
| 29 「その他非製造業」    | -4.8  | 3.4    | 20.4             | -18.9 | 18.3             | -26.9 | -4.0             | -3.6  |  |  |

- (備考) 1. 季節調整系列の対前期(月)増減率。  
 2. 「繊維工業」、「窯業・土石製品」は、従来は「その他製造業」に含まれていた。  
 3. 「はん用・生産用機械」は、従来の「一般機械」から「事務・サービス・娯楽用機械」を除いたもの。  
 4. 「業務用機械」は、従来の「精密機械」に「一般機械」の「事務・サービス・娯楽用機械」を加えたもの。

第3図 受注額、販売額、受注残高、手持月数  
(総額、季節調整値)

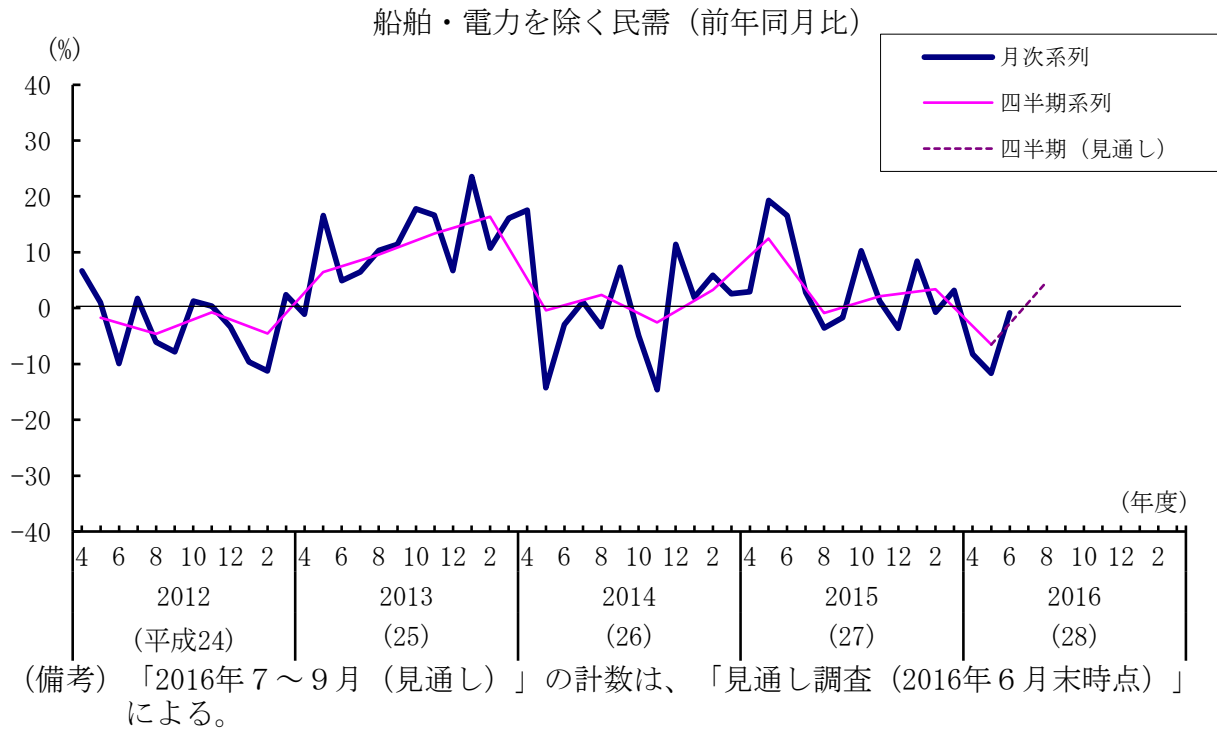




<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）

6月の受注総額は、2兆3,523億円で前年同月比9.1%減となった。

第4図 機械受注額の動向



需要者別にみると、民需は1兆738億円で前年同月比3.2%減（船舶・電力を除くと同0.9%減）、官公需は2,203億円で同8.4%減、外需は9,343億円で同16.8%減、また、代理店は1,239億円で同6.9%増となった。

民需のうち、製造業からの受注は、前年同月比3.8%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは17業種中、「その他輸送用機械」（229.5%増）、非鉄金属（200.6%増）等の10業種で、食品製造業（51.0%減）、電気機械（37.4%減）等の7業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注は、前年同月比2.8%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは12業種中、運輸業・郵便業（82.9%増）の1業種で、電力業（23.6%減）、金融業・保険業（17.8%減）等の11業種は減少となった。

<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）

1. 機種別

(1) 受注額

6月の受注額を機種別に前年同月比で見ると、鉄道車両（55.2%増）、原動機（36.9%増）等で増加となった。反面、船舶（89.3%減）、重電機（21.3%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比9.1%減となった。

また、民需からの受注額を機種別に前年同月比で見ると、航空機（301.6%増）、鉄道車両（196.3%増）等で増加となった。反面、重電機（29.5%減）、電子・通信機械（13.3%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比3.2%減となった。

第3表 民需の機種別機械受注の伸び

(単位：%)

|         | 2015年<br>(平成27年)<br>7～9月 | 10～12月 | 2016年<br>(平成28年)<br>1～3月 | 4～6月  | 2016年<br>(平成28年)<br>3月 | 4月    | 5月    | 6月    |
|---------|--------------------------|--------|--------------------------|-------|------------------------|-------|-------|-------|
| 民 需 総 額 | -2.0                     | 6.6    | 4.5                      | -6.1  | -0.0                   | -7.9  | -7.9  | -3.2  |
| 原 動 機   | -16.9                    | 1.1    | 33.8                     | -21.2 | 13.9                   | 9.1   | -55.5 | -4.4  |
| 重 電 機   | -11.6                    | 1.1    | -8.1                     | 4.8   | -16.7                  | 4.1   | 66.8  | -29.5 |
| 電子・通信機械 | 2.3                      | 4.7    | -1.0                     | -12.1 | -4.0                   | -13.6 | -8.2  | -13.3 |
| 産 業 機 械 | 0.8                      | 6.7    | -5.8                     | -5.3  | -6.5                   | -2.2  | -1.9  | -10.2 |
| 工 作 機 械 | 22.2                     | -1.7   | 0.7                      | -12.9 | 2.7                    | -16.9 | -18.9 | -3.9  |
| 鉄 道 車 両 | 17.5                     | 85.9   | 7.2                      | 113.5 | 0.4                    | 97.7  | 35.5  | 196.3 |
| 道 路 車 両 | -9.7                     | -26.1  | 5.4                      | 6.2   | 19.9                   | 5.8   | 1.5   | 11.0  |
| 航 空 機   | 8.4                      | 92.3   | 18.9                     | 105.5 | 3.0                    | -3.0  | -40.5 | 301.6 |
| 船 舶     | -62.4                    | 23.2   | -29.6                    | -28.1 | -7.4                   | -83.8 | 168.6 | 92.1  |

## (2) 販売額

6月の販売額を機種別に前年同月比で見ると、鉄道車両（157.1%増）、道路車両（32.2%増）等で増加となった。反面、工作機械（14.1%減）、産業機械（0.3%減）で減少となった。この結果、合計では前年同月比8.1%増となった。

## (3) 受注残高

6月の受注残高を機種別に前年同月比で見ると、原動機（12.6%増）、航空機（5.2%増）等で増加となった。反面、道路車両（19.6%減）、工作機械（11.8%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比0.9%増となった。

## 2. 鉄構物、軸受、電線・ケーブル

### (1) 鉄構物

6月の受注額は、416億円で前年同月比265.0%増、販売額は、301億円で同1.2%減、受注残高は、4,344億円で同9.8%増となった。

### (2) 軸受

6月の受注額は、513億円で前年同月比5.3%減、販売額は、297億円で同48.6%減、受注残高は、766億円で同8.0%減となった。

### (3) 電線・ケーブル

6月の受注額は、945億円で前年同月比12.3%減、販売額は、917億円で同13.4%減、受注残高は、954億円で同22.9%増となった。

# 機械受注実績調査統計表

## 目 次

### [ グラフ ]

|     |           |       |    |
|-----|-----------|-------|----|
| 第1図 | 主要需要者別受注額 | ----- | 10 |
| 第2図 | 主要業種別受注額  | ----- | 13 |
| 第3図 | 主要機種別受注額  | ----- | 18 |

### [ 計数表 ]

|  |                        |       |    |
|--|------------------------|-------|----|
|  | 需要者別受注額（季節調整系列）        | ----- | 19 |
|  | 機種別受注残高手持月数（ 〃 ）       | ----- | 24 |
|  | 需要者別受注額（原系列）           | ----- | 25 |
|  | 機種別受注額（ 〃 ）            | ----- | 30 |
|  | 機種別販売額（ 〃 ）            | ----- | 34 |
|  | 機種別受注残高（ 〃 ）           | ----- | 38 |
|  | 機械受注統計調査結果表（2016年6月実績） | ----- | 42 |
|  | 〃 （2016年7～9月実績）        | ----- | 46 |

### (別紙)

|  |                |       |    |
|--|----------------|-------|----|
|  | 需要者（業種）分類の表章変更 | ----- | 50 |
|--|----------------|-------|----|

### (巻末)

|  |           |       |    |
|--|-----------|-------|----|
|  | 季節調整の検討結果 | ----- | 51 |
|--|-----------|-------|----|